

令和 5 年 5 月 20 日発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉 4 4 2 - 1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷231-7
TEL (029) 292-3900(代)

さわらび

第 80 号



ある日の午後(桜の郷元気)

泰仁会ホームページ

泰 仁 会

検索



泰仁会ホームページ



やさとブログ



こぎつねの郷ブログ

題字「さわらび」について

題字の「さわらび」は泰仁会創始者である、江畑隆夫先生（理事長）のご夫人である江畑昭子様が、直筆にて創刊号に寄せてくださったものを継承しています。

「早蕨」（芽を出したばかりのワラビ）という意味があり、創立当初より泰仁会の永続発展を願っていたことがわかります。広報誌「さわらび」も第 80 号までに成長しました。

年度所感



理事長 泰仁会
常務理事 桜の郷元
施設長 永山直人

新しい年度に入り、一か月が経過しました。私だけが感じていることかもしれません。4月・10月、そして1月は月間がとても長く感じます。これらの月間はある意味、年度内でも「節目」や「四半期」としてさまざまな事項を振り返る時期でもあり、また1月・4月においては泰仁会としての「訓示」の場も設けており、その訓示を意識した月間になるからでしょうか。4月は、新年度事業計画説明もあり、理事長や高城施設長と共に各拠点施設で研修会を開催し、説明を終えたところです。泰仁会では高城施設長・大塚本部署務長が中心となり、2月に茨城県が主催した、「令和4年度ダイ

バーシティ推進・啓発事業（泰仁会には多様な人材受け入れ・シニア人材雇用）の取り組み成果として、医療・福祉分野を代表して事例発表をしました。高城施設長がある取材の中で、「ダイバーシティという考え方ありきでやってきたのではなく、法人の理念にもとづいた取り組みが、結果的に今の時代にマッチしてきたと考えている」と応えておりました。大塚事務長も令和5年度第一回の理事会において、「不妊治療と仕事の両立について」の環境整備を事務局として提案し、この議案が承認され、就業規則の一部改正につながりました。法人としては、以前より子育て・家族の介護や看護、年次有給休暇の取得促進をし、働きやすい環境整備を進めており、これまでの取り組みの一環として、今般、不妊治療と仕事との両立を図る休暇制度を導入するとともに、育児・介護と同様に、短時間勤務制度を不妊治療にも利用できることにしたものです。更に働きやすい職場へと加速していくと思われれます。介護業界・福祉業界がこれまで抱えていた、「負のイメージ」を変えてくれるものと信じています。このように経

営・管理者層を含め、中間管理職・一般職や多くの職員たちが自分たちの職場を良くしたい・働きやすくしたいと、自由闊達な提案ができる風土は、理事長のガバナンス統括・統率力がしつかりと取れているということでしょう。私自身も業務執行理事として、法人本部・各事業所の「橋渡し役」として、これら施策を浸透させると同時に、各事業所を利用される高齢者の方々に、この効果還元し、より良い介護サービスにつなげていかなければなりません。桜の郷元気においては、令和5年度も法人理念・経営理念のもとに、目指すべき基本方針は決して変わらず、「事業所を利用する要介護高齢者の視点に立つて、我々もいざ迎える人生の最終章をしつかりと支えていく」ということを一日一日を大切に、二度と戻ることのない時間を大切に、過ごしていきたいと思っております。私たちの日々のケア（仕事）が、私たちに大切な家族を託した方々の期待に応えることができるように、私は施設長としてスタッフに、その「心」をしつかり伝えていきたいです。遠い昔に他界した、祖父母たちに恩返しを

するような気持ちで…。祖父母たちにしてあげられなかったこと、一つひとつを思い出しながら。野球界では、ワールドベースボールクラシックが開催され、「侍ジャパン」が世界一に返り咲きました。多くの人々の心を揺さぶる出来事でしたね。歴史と記憶に残ります。サッカーに押され気味だった、野球人口も増えそうです。一方で私たちの介護という仕事は、人口減少が加速する中で、更に介護人材が不足していくことが明らかです。コロナウイルスが収束に向かつて動き出せば、事業所内外で、介護にかかわるスタッフたちの「姿」がもつと、世の中の人々の目に映ることでしょう。自分の大切な家族を、親身になってサポートするスタッフの姿を見て、「あのような人になりたい」・「あんな仕事をしてみたい」と施設に面会に訪れる、孫や曾孫世代の若い年齢層の方々にも思ってもらえるような、仕事ぶりを見せたいですね。幅広い多くの世代の方々にも選んでもらえる業界・法人事業所でありたいです。表紙の女性スタッフも他業界から来てくれました。今や桜の郷元気の宝です。

★私の役割

主任ケアマネジャー

中山 由衣

ケアプランセンター桜の郷元気で在宅のケアマネジャーとして勤務し、2年目を迎えました。ご自宅に訪問し、ご利用者の身体状況や生活環境意向も含め、色々なお話を伺っています。ご利用者の課題が何なのか、課題を解決するにはどのようなサービスを利用する事が望ましいか。ご利用者、ご家族の意向に沿いながらサービスの提案をするように心掛けています。特に気をつけている事は、ご利用者やご家族に介護保険サービスを分かり易くお伝えする事です。制度を理解できていない状態を話を進めしてしまう事はご利用者、ご家族にとって不安に繋がってしまいます。安心してサービスがご利用できるように意識しながらお伝えしていますが、受け取り方は人それぞれなので、より分かり易くご説明できるように工夫しながら、今もなお勉強の日々です。

また、皆様は主任ケアマネジャー



の存在をご存知でしょうか？主任ケアマネジャーはご利用者やご家族の相談援助や介護サービス等の調整はもとより、地域の主任ケアマネジャーの方々と連携を図りながら、ご利用者一人ひとりを地域全体でサポートしていくための地域づくりに貢献をしていく役割があります。私も主任ケアマネジャーに昨年なる事ができました。地域の社会福祉がより良いものになるよう、微力ではありますが、私にできる事があればチャレ

ンジしていきたいです。まずは目の前にいるご利用者、ご家族と真摯に向き合い、関わらせていただきたいと思っています。

★向き合い 思うこと

理学療法士 木村 昌弘

今年の秋になると、泰仁会のデイサービスで働き始めて、まる8年になります。

以前は、病院で主に、急性期の患者様の機能回復を目的としたリハビリテーションを行っていましたが、デイサービスでは、急性期や回復期を経た方や高齢により生活機能が低下した方に関わる機会が多くなりました。

よって現在は、単なる機能回復を目指すのではなく、潜在する能力を最大限に発揮することで自立を促したり、ご家族の負担を軽減することを中心に関わらせていただいています。

そのために、ご利用者一人ひとりの生活環境を把握したうえで、福祉

用具の提案、場合によっては在宅改修の提案をさせていただくことで、ご利用者とご家族が生活しやすい環境づくりのサポートを行っています。

また、ご利用者の実際の生活場面に即した練習をより効果的に行うために、常に一对一のリハビリを提供しています。これからも皆さんが、いつまでも、住み慣れた場所で暮らし続けられるといいですね。



明るい未来

シヨートステイ ひたちの長岡 関根 陽視

ひたちの長岡に入職して3年が経ちました。介護福祉士としての経験は15年と研鑽を積み、昨年はユニットリーダーに任命され、毎日ご利用者や職員と楽しく過ごしています。

新年度の抱負として、初めに知識の向上を目指します。変化の激しい世の中と同じく、介護業界は常に変わっていくため、最新の情報や技術を学び、自己研鑽も続け、専門的なスキルアップを行います。人間性を高める事が経営理念でもある福祉サービスを通して地域社会に貢献することに繋がると信じているからです。

次に、新人職員の育成に取り組みます。自分が学んだことを伝え、指導することで、自身のスキルアップや成長を促し、より良い介護サービスを提供するための経験や知識を共有し、コミュニケーションをしっかりと取り、職員と協力しご利用者の方々に寄り添いチームでご利用者のサポートをしていきたいと思っています。

また、シヨートステイは臨機応変な対応が求められる、個々のニーズに合わせた介護



サービスを提供するよう努めていきます。最後に、コミュニケーション能力の向上も重要と考えています。言葉や表情、態度などから感情を読み取り、適切な対応をすることが介護をするうえで重要な部分であり明確な言葉遣いや相手の話に耳を傾けることで信頼関係を築き、より良い介護サービスを提供するための土台を作っていくたいと考えています。これらの抱負を持ち、より良い介護サービスを提供し、地域社会に貢献する職員を目指し、明るい未来を創っていきます。

前を向いて



特別養護老人ホームやさ
施設長
高城 裕

今年、新年度のスタートを飾るように、各地で桜満開となり、例年になく早い開花が伝えられました。その背景にあるものは、地球温暖化の影響なのか今後も開花時期は早まるのかと考えます。

そんな中、社会では新型コロナウイルスの言葉が薄れてきたように感じます。私達を苦しめてきたウイルスも季節性インフルエンザと同等の五類へ移行しました。五類になったからといって、ウイルスが無くなるわけでも流行の波がなくなるわけでもありません。行動制限がない中、引き続き対策を実施していくという予測できない状況が待っています。私達は、今まで以上に感染対策の意識を高め行動していかねければなりません。自分自身や周りにいる人を守るためにも気を緩めず、取り組んでいきたいと強く思っています。

また近年、働き方改革が推進されダイバーシティなど組織作りにも変化が求められています。当法人では「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました。また、「茨城県ダイバーシティ推進・啓発事業」モデル企業に選ばれています。今年の二月には、医療福祉業を代表し「いばらきダイバーシティ&インクルージョ

ン」にて取り組み成果事例を発表させて頂きました。これまで働きやすい環境を構築したいと取り組んできたことが認められ嬉しく感じます。これからも、いかに良い組織風土を作れるのか、職員一人ひとりの多様性を受け入れながら、それぞれの価値観、能力をお互いが認め合い成長や変化を推進していける風土を目指していきたいです。

さらに、昨年から続く物価高騰は施設運営に甚大な影響が生じています。私達のような社会福祉施設は、国が定めた公的価格により経営している状況です。この影響をご利用者負担にすることはできず、自分達で努力していくしかありません。ご利用者が安心して生活できるように、質の高いサービスを提供し続けるためにも職員一人ひとりがコスト意識を高め、協力しながらこの難局を乗り越えていかなければと思います。このような厳しい状況の中ですが、法人理念である「あつてよかった・いてよかった」ご利用者や地域に施設があつてよかつたと思えるように、さらには職員が、ここで働いてよかつたと思えるよう努力して参ります。



事業計画説明会

こぎつねの郷



お別れ会では美味しいケーキを食べました



デイサービスやさとはアニマルセラピーの一環として二羽のうさぎを飼い始めました。
名前は「いちごちゃん」と「きなこちゃん」です。デイサービスだけでなく託児所のお子さんたちとも触れ合っています。

アニマルセラピー



春が到来！
満喫しました！





やさしくも
ポカポカ陽気を



ダイバーシティへの取り組み

急速な人口減少や少子高齢化、経済、社会のグローバル化など社会情勢は急激に変化しております。このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められます。

泰仁会ではいばらきダイバーシティ宣言を行い、「茨城県ダイバーシティ推進・啓発事業」モデル企業に選ばれ、二月二十一日に開催したイベント「いばらきDiversity&Inclusion」にて当法人の事例を紹介させていただきました。

茨城ダイバーシティ推進センターのホームページには取り組み事例の紹介と、イベントの動画が公開されていますのでぜひご覧になってください。

イクメン応援!

二〇二二年に育児・介護休業法が改正され、産後パパ育児制度が新設されました。

泰仁会では、男性の育児休暇取得が進んでおりますが、制度改正の産後パパ育児も導入しております。

実際に取得した職員より、「産後一番大変な時期に育児を取る体制が整っていて、夫婦共々とても助かりました。また、再度育児取得ができ、奥さんと協力して育児ができ、子供ともゆとり過ごす事ができたのが嬉しい。家庭の事も考えてくれる施設で働ける事に幸せを感じているので、これからも頑張っていきたい。」と仕事へのモチベーションにもつながっています。

今後多くの多様な人材が活躍できる働きやすい職場環境・組織風土を創造していきます。

准看護師を目指して

特養やさとの小澤介護員は四月から准看護学生として資格取得のために看護学校へ通い始めました。

泰仁会では働きながら准看護師の資格を取得できる制度を整備しています。お子さんも産まれたばかりですのでみなで応援していきたいと思えます。



泰仁会の取り組み事例



いばらき Diversity&Inclusion



茨城県ダイバーシティ推進センター YouTubeチャンネルより

介護福祉士合格おめでとう!



特別養護老人ホームやさと 齊藤 圭太



特別養護老人ホームやさと 廣瀬 亜紀子



特別養護老人ホームやさと ジョアン



特別養護老人ホームやさと プリ



特別養護老人ホーム桜の郷元気 メイ



特別養護老人ホーム桜の郷元気 リスナ



グループホームさわらび ジョコ



国府 あおい 長谷川 舞